

白河バイパス

全線開通



開通を祝う

国道294号白河バイパスが、2月4日に全線開通しました。南湖トンネルの前で行われた開通式には、福島県知事をはじめ、関係者、地域住民など大勢の方が集まりました。

式では、市長が「市民生活の利便性の向上、県南地域の経済活動の支え、病院への迅速な救急搬送、小峰城や南湖公園への観光誘客など、本市の発展を力強く牽引するものと確信している」とあいさつしました。

式の最後に、出席した皆さんとテープカットや「通り初め」を行いました。

人の流れを呼び込む

白河バイパスが完成し、市の玄関口である白河中央スマートICと国道289号が直接結ばれました。

小峰城や南湖公園、昨年脚光を浴びた白河関跡へのアクセスが格段に向上し、街なかに新しい人の流れを呼び込むことができます。

市では、この道路をいかし「歴史と文化の街 白河」の魅力を強く発信していきます。

主な構造物の紹介

白河バイパスの整備は、小峰大橋や南湖トンネルなど、高度な技術が求められる難しい工事の連続でした。

ご協力いただいた地権者や地域の皆さま、事業主体の福島県、工事関係者の皆さまには、心より感謝を申し上げます。

小峰大橋



総延長 192m
幅員 14.5m
(車道6.5m 歩道両側3.5m)

小峰城の東側丘陵石垣や那須連峰を望む白河の新しい玄関口です。

南湖トンネル



総延長 474m
幅員 14.5m
(車道6.5m 歩道両側3m)

広い歩道やガードパイプ設置により、歩行者も安心して歩けます。

これまでの歩み

平成7年度に事業が開始されました。その後、平成23年の東日本大震災を機に、震災復興事業として、急ピッチで進められました。市街地内の道路拡幅に加え、技術的にも難しい工事でしたが、短い期間での全線開通となりました。

(年度)	事業内容
平成7	白河バイパス事業着手
平成13	馬町工区着手
平成21	白河中央スマートIC 供用開始
平成23	東日本大震災発生
平成25	都市計画変更 (4車線→2車線)
平成26	福島県南建設事務所へ 市職員を派遣
平成27	薄葉交差点部工事 馬町工区供用開始
平成29	JR陸羽街道架道橋着手 豊地工区供用開始
令和2	JR陸羽街道架道橋完成 小峰大橋完成
令和3	葉ノ木平地区供用開始 東大沼地区一部供用開始
令和4	南湖トンネル完成 白河バイパス全線開通

市内を南北に結ぶ 白河バイパス

白河バイパスの完成により、街なかや観光地への移動がスムーズになりました。新たな観光誘客やビジネスを促進するなど、さらなる地域活性化が期待されます。



①小峰城跡

震災から約11年ぶりに帯曲輪が公開されました。春には美しい桜と壮大な石垣が楽しめます。



しらかわ観光ステーション

観光やラーメン店、地元産品などの情報を発信する施設として、白河駅の隣に、この春オープン予定です。



④白河関跡

昨年、夏の甲子園で脚光を浴びました。かつての歌枕の地は、高校球児や野球ファンの聖地となりました。



②小南湖 (白河藩大家墓所)

白河藩主丹羽長重の霊廟拝殿や松平家二代の墓がある公園です。市内有数の紅葉の名所です。



③南湖公園

四季折々の雄大な景観が魅力です。湖畔を散策したり、カフェや茶屋でゆったりとした時間を過ごせます。